




なんでも走らせタイヤ！

プログラムの概要・ねらい

ペットボトルのキャップを再利用してタイヤを作る。キリやハサミ、ホットボンドの安全な使い方を覚え、自分だけのオリジナル作品を作ること、創意工夫する喜びを体験する。

どうすればスムーズに動くタイヤができるか、風を受けて走らせるための工夫などを考えて作る。

場所	学校・団体： クラフト室 家族： サービスセンター前	  
時間	1時間30分～2時間	
値段	料金表参照	
季節	年間	
人数	クラフト室 席数48	
準備物	<p>【利用者】 ぞうきん、筆記具、季節に適した服装、救急用品、新聞紙、ポスカ等、小枝</p> <p>【自然の家】 材料（竹ぐし2本、ストロー適量、洗たくバサミ（2種類・2個ずつ）、厚紙、ペットボトルキャップ4個） キリ、ハサミ、ホットボンド、ホットボンドスティック</p>	

①準備

学校・団体：材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
 家族：材料をサービスセンター受付にて購入し、備品を借りる。新聞紙を机に敷く。

②実施の流れ

【時間】

0:05

説明

※材料の確認と作業の手順について話す。
 ※作品見本で完成品を見せ、製作意欲を高める。

0:15

- ・キリでペットボトルキャップに穴をあけ、タイヤを作る。穴は竹ぐしよりも小さくする。(写真①)
 ※穴はできるだけ中心にあける。
 ※おもしろい動きをさせるため、わざと中心をずらしてもよい。
 ※キリでケガをしないよう気をつける。
- ・ストローを3cmに切ったものを、4つ作る。(スパーサー)
- ・タイヤの穴に竹ぐしを通し、洗たくバサミの穴を通して車輪を作る。
 ※タイヤ→ストロー→洗たくバサミの穴→洗たくバサミの穴→ストロー→タイヤの順(写真②)
 ※洗たくバサミに竹ぐしが通りにくい時には、キリで穴を広げる。(写真③)
 ※タイヤの穴が大きすぎたときには、ホットボンドで接着する。
 ※ホットボンドを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。
 ※ホットボンドの先端部分は高温になっているので取り扱いに注意する。
- ・2種類の洗たくバサミに同様の作業をし、全部で4セット作る。(写真④)

0:50

- ・厚紙で車や電車、動物などの走らせたいものを作る。(写真⑤)
 ※帆のようなものを取りつけると、風で走らせることができ、友達とレースをすることができる。(写真⑥)
- ・小枝などで立体的な車体を作って走らせてみる。(写真⑦)
 小枝は、外に集めに行く。

※林や茂みには入らない。

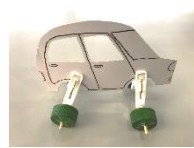
⑥



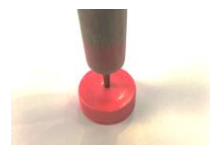
⑦



完成



①



②



③



④



⑤



なんでも走らせタイヤ！ その2

②実施の流れ(つづき)

【時間】

※プログラムで他の利用者が使用している施設には、入らないように指導する。
※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。(別紙 注意が必要な動植物参照)

1:15 片付け

1:30 終了

③後片付け

学校・団体：工具等を元へ戻し、電動工具のコンセントを抜く。
ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。**※机と床の水拭きを必ず行う。**
(掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照)
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。
クラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付へ返却する。

家族：机の上に敷いた新聞紙を木くずと一緒にゴミ箱へ捨て、机の上をきれいにする。
借りた備品をサービスセンター受付に返却する。